

提出日：2016 年 1 月 28 日

クルーズサマリー

1. 航海情報

航海番号： KY15-E04
船舶名： かいよう
航海名： 平成 27 年度 所内利用(受託等)北部伊豆・小笠原弧 IODP 掘削事前調査(係留系回収)KY15-E04 「かいよう」
首席研究者： 青池 寛 (海洋研究開発機構 地球深部探査センター)
課題代表研究者： 青池 寛 (海洋研究開発機構 地球深部探査センター)
研究課題名： 北部伊豆-小笠原弧 IODP 掘削のための事前調査
航海期間： 2015 年 12 月 13 日～2015 年 12 月 16 日
出港地-寄港地： 横須賀 - 横須賀
調査海域名： 北部伊豆-小笠原弧

2. 実施内容

目的

本航海は北部伊豆-小笠原弧青ヶ島東方沖 55km の IODP 掘削提案サイト IBM-4 に設置した 2 式中層係留系を回収することを目的に計画された。同係留系は YK14-10 航海(2014 年 6 月)で設置され、KY15-15 航海(2015 年 10 月)で回収が試みられたが、海況不良により回収は断念された。IBM-4 は近い将来 IODP において「ちきゅう」による深部ライザー掘削が実施される可能性があるサイトであるが、同サイトはしばしば黒潮の流路にあたる。掘削安全性評価、特にライザー解析のため、長期海流観測データの取得が必要であることから、係留系が設置された。設置した係留系は約 1500 の長さがあり、直立時にトップブイが 300m にくるよう設計されている。

調査概要

[12 月 13-14 日]

「かいよう」は JAMSTEC 横須賀本部棧橋を 12 月 13 日 08:30 に出航したが、海況不良のため海域に向かわず、相模湾初島沖で避泊した。12 月 14 日 03:00 に発航、青ヶ島東方沖に向かった。途中、調査海域北西部の往路上でマルチビーム測深を実施した。最初のサイト CM-07 近傍潮上に同日 23:40 に到着し、待機した。

[12 月 15 日]

12 月 15 日 06:35 より CM-07 の係留系回収作業の準備を開始した。切離しコマンドを 06:59 に送信、トップブイは 07:02 に浮上、最終ガラス玉フロートは 07:19 に浮上した。CM-07 の全ての系はトラブルなく 09:20 に回収された。回収後直ちに CM-08 に向かい、近傍

潮上に 09 : 45 に到着した。切離しコマンドを 09 : 59 に送信、トップブイは 10:02 に浮上、最終ガラス玉フロートは 10:16 に浮上した。CM-08 の全ての系はトラブルなく 12:09 に回収された。回収完了後、「かいよう」は直ちに帰途につき、途中調査海域北西部の復路上においてマルチビーム測深を実施した。

[12 月 16 日]

「かいよう」は JAMSTEC 本部沖に 04:55 に到着し、09:00 に本部棧橋に着棧した。